

別邸仙寿庵



温泉熱の給湯利用

浴用利用の余剰分の温泉排湯を熱交換器、ヒートポンプを用いて、上水予熱、給湯への利用を行っています。また、温泉の加温にも活用しています。



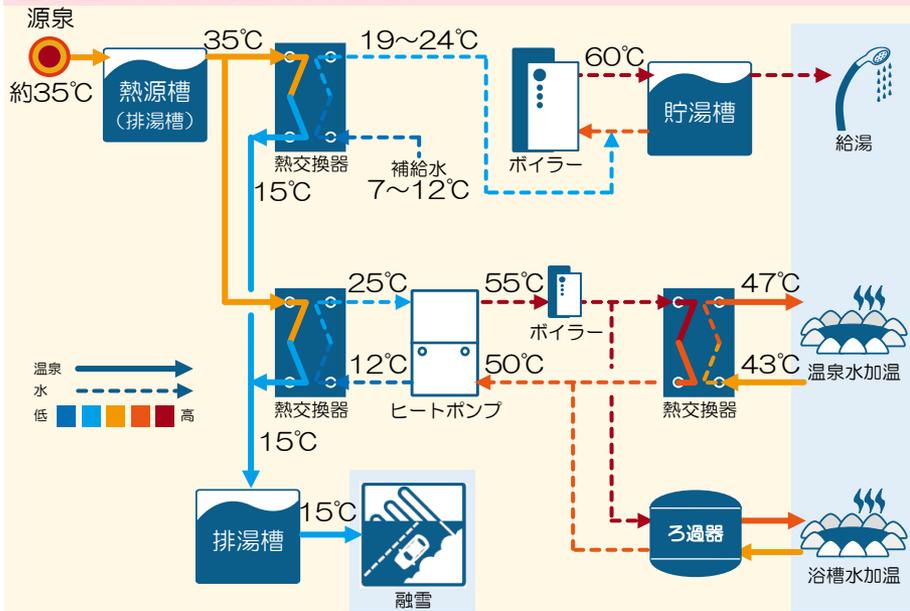
概要

国内では数少ないグリーンキー取得をしている温泉旅館。温泉排湯をヒートポンプ熱源、補給水の予熱として活用している。かつては未利用の温泉を川に放流する一方で、給湯や温泉の加温に灯油を利用して。光熱費低減を目指し、維持管理会社へ相談したことから取組実現につながった。

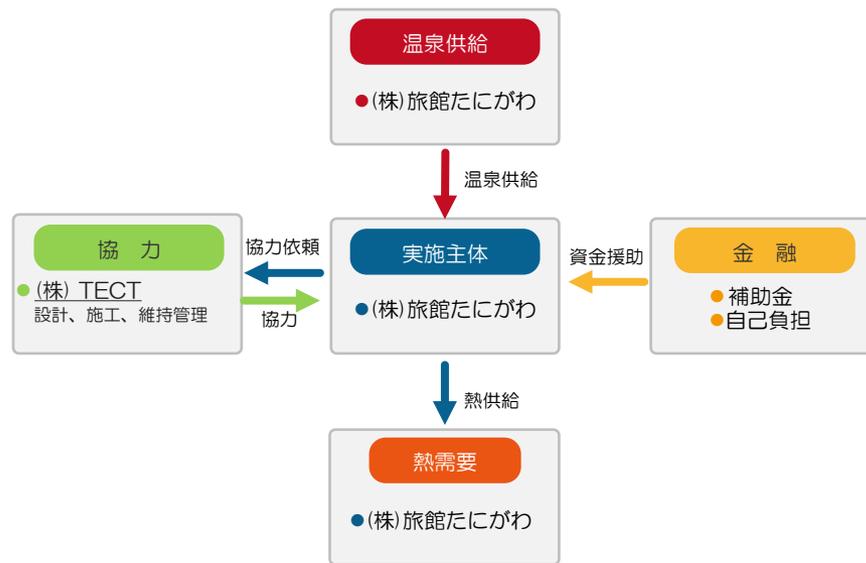
事業者名	(株) 旅館たにがわ
所在地	群馬県みなかみ町
泉質	カルシウム・ナトリウム-硫酸塩・塩化物泉
温泉温度	50℃
熱利用温度	35℃
事業開始	2022年2月 ※温泉熱利用事業について
総事業費	50,000千円



主な温泉熱利用方法のシステム



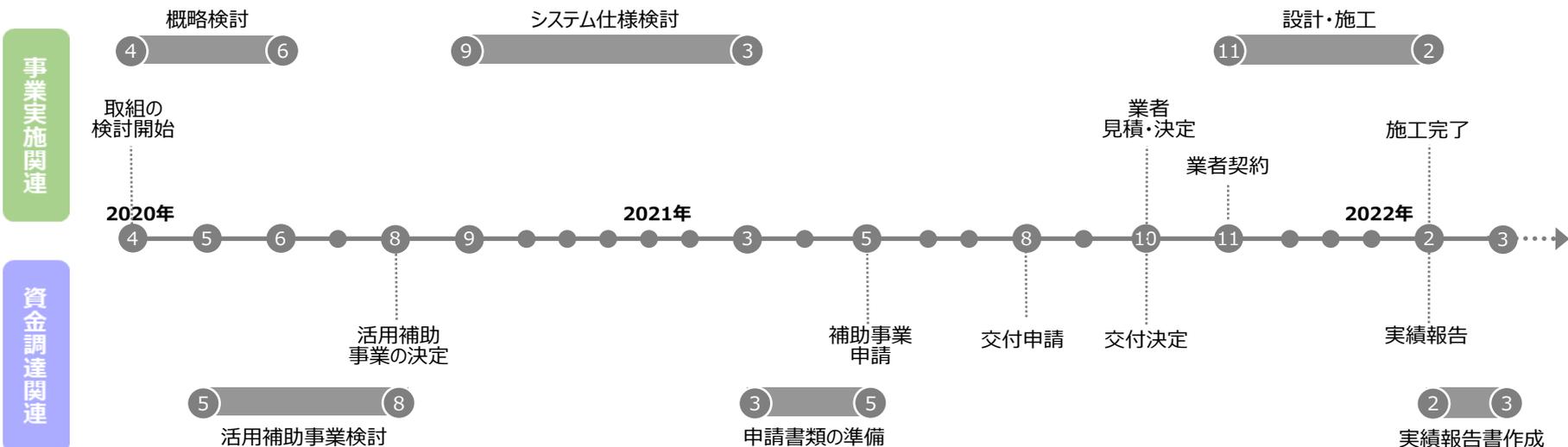
実施体制



別邸仙寿庵



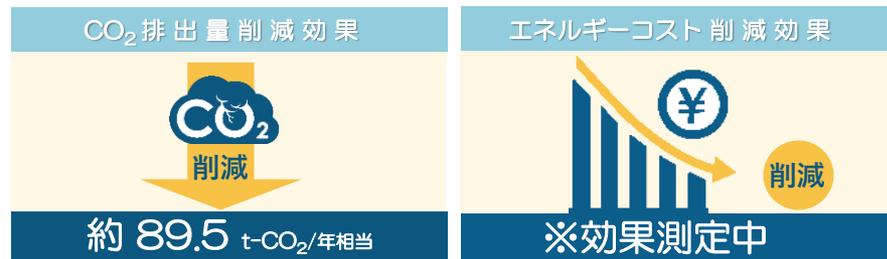
事業検討の流れ



事業実施の際の課題と解決策

課題発生時期	課題	解決策
設備導入時	— (特になし)	<ul style="list-style-type: none"> 経営者の省エネ、CO₂低減への理解があると、取組ハードルは高くない 日々のメンテ会社との意見交換
補助金利用検討時	— (特になし)	— (特になし)
補助金申請時	<ul style="list-style-type: none"> イニシャルコストの根拠資料を整えるのが大変であった 	— (特になし)
補助金採択後	— (特になし)	— (特になし)

主な効果



※: CO₂排出量削減効果とエネルギーコスト削減効果は補助事業実績報告書に基づく。

今後のビジョン

- 温泉熱利用を暖房への適用も進めていきたい
- 今後温泉熱利用を検討されているような事業者の参考となるように、取組と効果のPRを進めていきたい